

第27回 市政会議

生活に直結する問題 について執行部をただす

市政を学習し、婦人の社会参加を進めよう—と、恒例の市政会議が二月二十四日に市役所大会議室で開かれました。これは、市政発展の一助になればと、南国市連合婦人会（西森律会長）が発足した当時から毎年開催しているもので今年で二十七回目。市の執行部からは小笠原市長をはじめ、浜田両助役、関係各課長が出席、各地区の婦人会の代表者約五十人が事前に取ったアンケートに基づいて活発に質問戦を繰り上げました。



代表者約50人が活発に質問戦を繰り上げた

開会にあたり、まず西森会長が「マナー化をしていくという声もあるが、同じことの繰り返しによって問題が解決することもある。この会議を通じて婦人の社会参加を進めるとともに市政への一助になればと思います」とあいさつした。市長が市政の現状を報告したが、その中で「し尿処理場の問題や不燃物処理場



の問題は新聞へも大きく報道されたが、今すぐ処理ができなくなるという段階ではなく、困らないように計画を進めていきたい」と説明しました。続いて質問に移り、約四時間にわたって活発に意見を交換、特に生活に直接かわる問題では鋭い質問が飛び出していました。主な内容は次のとおりです。

希望もあり、南国市としては基本的に賛成の姿勢を取っている。文化会館の建設は、建設には二、三十億円かかり、維持費も大きい。それほど緊急に実現しなければならないものではないと思うが、市には文化施設が少なく、必要になると思うので、今年、来年中に土地を選定し、市制施行三十周年の記念事業として設計を行い、遠くない将来着工したい。

広報の配達が遅いので対策をお願いしたい。また、市長の年頭のあいさつを一月末に読むのはおかしいので、一月は発行日を早くしてはどうか。

市としては一週間以内に各家庭に配達される予定で発行している。広報は郵送、または職員によって地区の連絡員まで配達される。職員についてはなるべく早く連絡員まで届けるように周知を図る。一月については発行日を現在の十五日より早くすることを検討する。

駐車場がいつもいっぱいだが大



市が買上げた土地が未登記のままでも元の所有者に税金がかかってくる場合があるので登記をしてもらいたい。

税務課では登記簿に基づいて課税しているためそのような場合もあるが、事業の担当課から「市が買上げた土地であるので課税を免除してもらいたい」という申請



があれば免除手続きを行う。

其働きの家庭の保育料が農家に比べて高いのは不公平ではないか。引き下げはできないか。

保育料については国から毎年基準額が指示される。所得税、固定資産税を基準として決定するため税の公平の観点から考えなければならぬ問題であり、税務課とも協議を行う。現在市の準備は国の基準額より低くなっており、これ以上減額するのは難しい。

新しいし尿処理場の用地選定に今すぐ取りかかるように要望する。また、現在の処理場の処理薬品の地中への残留度や周辺への影響について報告してもらいたい。

新処理場は過去十数年にわたって建設に向けて努力してきたがまだ用地が決まっていな。現在問題となっているのは放流水であるが、今すぐ困るわけではない。新

処理場の建設についても取り組んでいる。放流水が地中へ浸透した後どうなっているかは確認できないが、谷川の水質検査などではその影響は認められない。

犬の放し飼いやふんの後始末などを条例で指導できないか。野犬捕獲器はどれくらい効果があるのか。

県では飼育方についての条例を定めており、苦情があれば指導、啓発に努める。飼育主もペットとして飼育する登録などそれなりの責任を持ってもらいたい。小犬ができてから引き取り利用してはならない。野犬捕獲器については念入り利用すれば効果は上がることが最近貸し出し件数が減ってきている。そのほか猫についても苦情が多く、啓発や条例も考えなければならぬと思っている。

ごみの不法投棄についてなんらかの対策は立てられないか。

啓発活動以外にないかと考えている。大きな観光地がある自治体ではデポジット方式を採用しているところもある。これは缶ジュースなどの代金に缶代を上乗せして販売し、消費者が空き缶を返したときにその缶代を返還する方式であるが、業者の抵抗があり法律や条例の制定にはいたっていない。

粗大ゴミを年に一、二回収収で



きないか。また片山の不燃物処理場はどのような状況か。

粗大ゴミについては燃えるごみとして出せるものはできるだけ小さく刻んで指定のごみ袋に入れ、燃えるごみとして出してもらいたい。燃えないものについてもなるべく壊して出してもらいたい。そのような処理ができない場合には岡豊に民間処理場があるのでそこへ持って行って処理をしてほしい。新しい処理場については粗大ゴミも処理できるような施設にする予定である。

火葬場についての経過報告を。以前は南国市と土佐山田町が共同で火葬場を経営していたが、老朽化のため六十年八月に閉鎖した。新施設の建設に努力したが、独自では不可能と判断し、赤岡町の香南火葬組合に加入を申請し、現在

委託処理をお願いしている。六十三年度には組合が南国市の加入の可否について話し合うことになっている。

生活排水を流すところがないので下水道を完備してもらいたい。

現在高知市高須から土佐山田町までの瀬戸湾東部流域下水道が計画されている。南国市としてはそれによって市の約八〇％が処理できることになるが、それには本管へ下水を流すための施設の整備をしなければならぬ。現在個々の生活排水の処理については生活環境課に相談してもらいたい。集落内の農業用水路を利用する場合に河川管理者などの承諾が必要となっている。

白木谷へ水道を引いてもらいたい。

八京への給水については岡豊から水を引くことになり、現施設では規模が小さく不可能。まず岡豊のタンクの改良が必要になってくる。

市政会議ではこのほか、支所廃止の問題や国民健康保険税、生活保護の問題について話し合われた。また、昨年の選挙で初当選を果たした新人議員が出席、「議会にも皆さんの意見を反映していきたい」と抱負を述べていました。

市議会議員

への要望

真に住民の代表という自覚を持って市政発展に努力してもらいたい。

ガラス張りの市政の実施を。

若手議員の力で明朗かつ正しい市政を期待する。

もし何かあれば職を辞するくらいの政治姿勢を望む。

その他の意見・要望

明確な台帳を作成して市有財産の管理を。

同和問題について逆差別がないよう教育部門での啓発を。

住居表示を実施してほしい。

市営住宅の家賃や管理基準を明らかに。

老人憩いの家の建設を。

黒龍青少年自然の家の改良、充実を望む。

白木谷の梅林への道しるべを作り、宣伝してほしい。

図書館の本の充実を図ってほしい。

職員の事務服、名札の着用状況が悪い。

窓口事務のサービス向上と事務の簡素化を。